

飯島賢二の『恐縮ですが…一言コラム』

第 37 回 飯島さんって、右翼…？ ～当たり前のことの難しさ～

「飯島さんの文章を読んでも、イライラしてきます。まるで右翼か軍国主義者のよう
で…」ある方から、こんな感想（ご批判？）を頂いた。小生個人を良く知っている方は、
ご理解頂いているゆえ、ムキになって弁解することもないが、恐縮だが、ちょっと、一言。

何故に、そんな誤解を生ずるのか…？あくまで「オレ流」だが、恐らく、「当たり前の
ことを、当たり前に受け入れられなくなってしまった社会風潮」が生まれ、定着し、だか
ら、「当たり前のことを言い辛くなり、聞き辛くなった」からかもしれない。

国民が国旗の下で国歌を歌う、主権国家の「アイデンティティ」として当たり前のこと
である。日本以外の全世界の人民は、何ら疑問なく常識の、しかも誇り高き行為である。

「君が代」か「日の丸」かの論議はあろう。しかしそんな論議を何十年も平気で繰り返し、
国民周知の国旗・国歌が存在しないでいる無神経さは、世界の「笑いもん」に違いない。

日教組の旗の下で、卒業式はできっこない。

尖閣列島が日本固有の領土とするならば、なぜ、国境警備軍がない？無法に国境を越
え侵略した場合、極刑に処すのは全世界のルール。「問題あるから早く帰りなさい」とは、
国家の主権を自ら放棄したに等しい行為。日本は本当に独立国なのか、世界の反応は、
戸惑いあるのみである。

アメリカさんの教えのもとに作らせて頂いた「日本国憲法」。もう発布されて何年たつ
か、その間、世の中の環境、社会情勢、価値観等々、どのくらい変化したのだろう。憲法
は一体何のため、誰のためにあるのか、そんな原点に立てば、変化に対応するのが当たり
前。国家基本法の世界中の現状を見れば、第2次大戦後全く改正しない国は、極僅かであ
る。日本人の手による、日本人のための憲法があって然るべき時は、何時だったらいの
だろうか？こんな事を言うから「右翼」「軍国主義」とは、いかにも短絡的過ぎる…？！

「仮想民主主義ゲーム」に酔いしれている日本人、民主主義の根本は、人民（市民や国
民や納税者や有権者のこと）である。人民が自らの主張を持ち、義務を確実に果たし、従
って権利を行使できる。法治国家として、社会の規範の中で、人民たる役割を果たしてい
くのが、最低限の民主主義のルールである。

その義務を放置、責任からは逃避し、「俺だけは…」「そんなこと関係ねえーよ」だらけ
の日本だとしたら、「仮想民主主義ゲーム」に酔いしれているといわざるを得ない。辛くて
もやるのが「辛抱」、礼節を重んじ弱きを助けるのが「侍（サムライ）」、平和を愛し全て
の人への労わりをもつのが「教養」、こんなことを考え、堂々と主張したりするから、や
っぱり変わっているかもしれない。（…当たり前のことを言っているだけなのだが…）